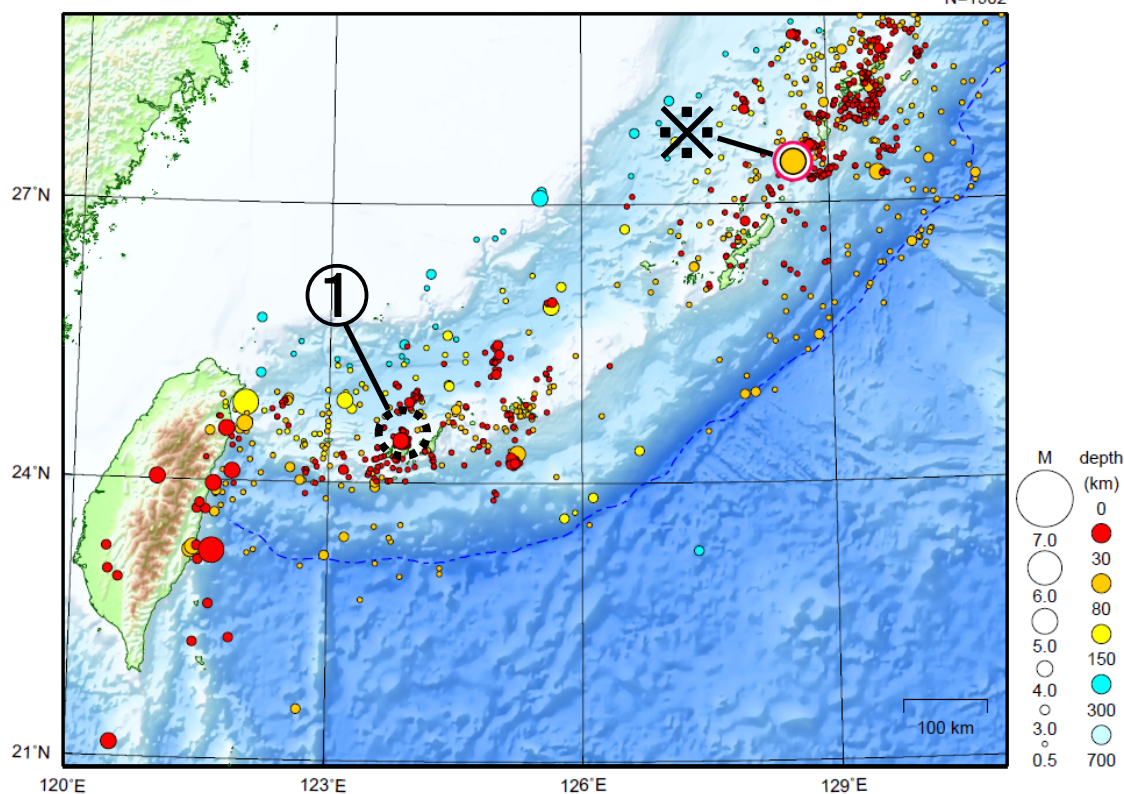


# 沖縄地方

2026/05/01 00:00 ~ 2026/05/31 24:00

N=1902



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 西表島付近では、5月中に震度1以上を観測した地震が17回（震度3：2回、震度2：7回、震度1：8回）発生した。このうち最大規模の地震は、10日に発生したM4.9の地震（最大震度3）である。

※で示した地震については九州地方の資料を参照。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

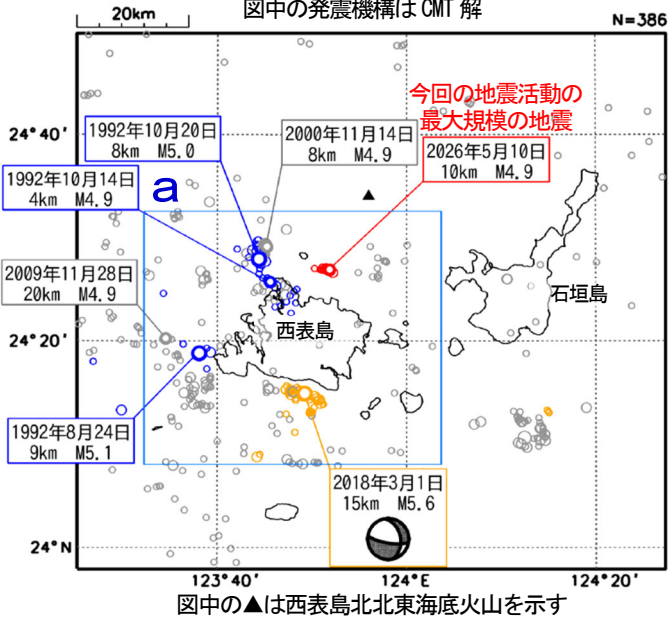
気象庁・文部科学省

# 西表島付近の地震活動

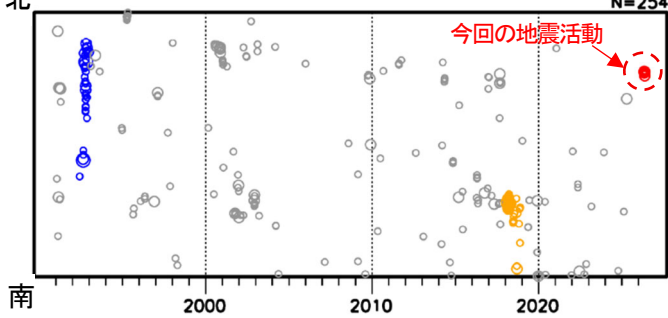
震央分布図

(1991年1月1日～2026年5月31日、  
深さ0～20km、 $M \geq 3.0$ )

1992年の地震を青、  
2018年2月28日から12月31日までを橙色、  
2026年4月10日以降の地震を赤色、  
その他の期間の地震を灰色で表示  
図中の発震機構はCMT解

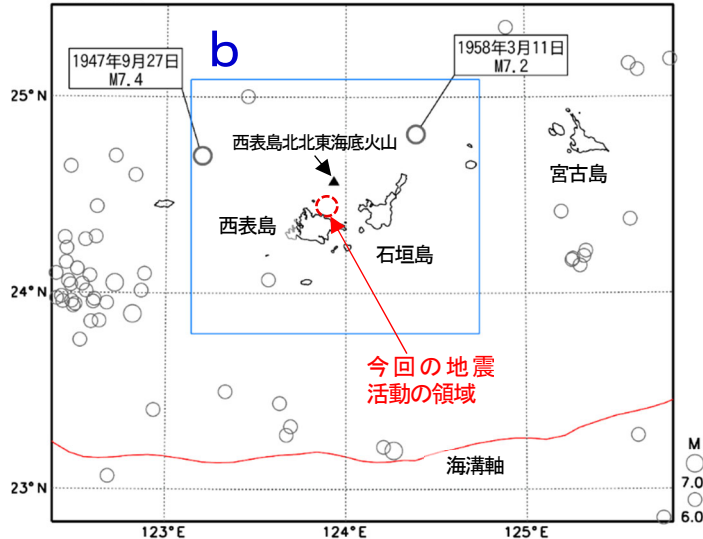


領域 a 内の時空間分布図 (南北投影)  
(1991年1月1日～2026年5月31日)



震央分布図

(1919年1月1日～2026年5月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )

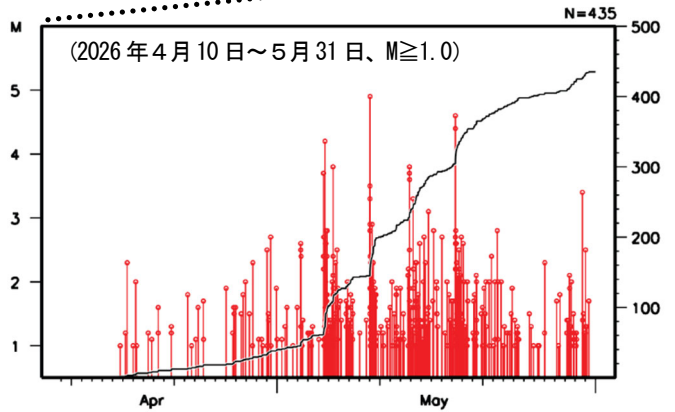
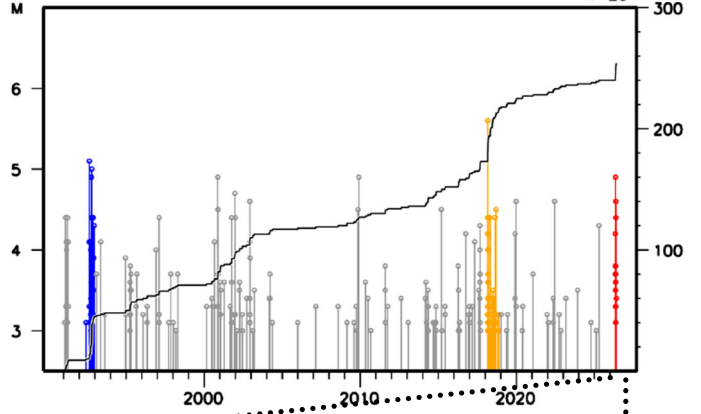


西表島付近では、2026年4月中旬から地震活動がみられ、5月5日から5月31日までに震度1以上を観測する地震が17回(震度3:2回、震度2:7回、震度1:8回)発生した。このうち最大規模の地震は、10日01時18分に発生したM4.9の地震(最大震度3)であった。これらの地震は陸のプレートの地殻内で発生した。

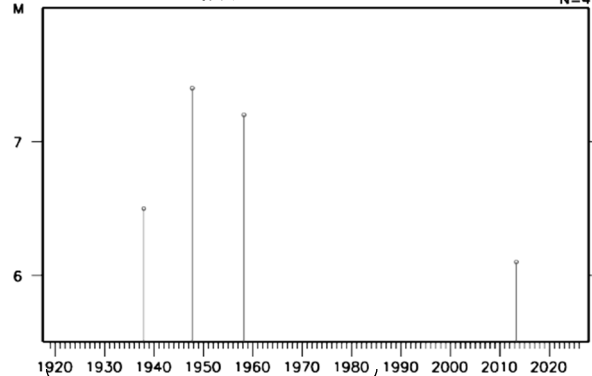
1991年以降の活動をみると、今回の地震活動の周辺(領域a)では、M5程度を最大規模とする地震活動が時々発生している。このうち1992年の活動では、落石や壁の亀裂等の被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺(領域b)では、1947年9月27日にM7.4の地震(最大震度5)が発生し、西表島で死者4人、石垣島で死者1人の被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内のM-T図及び回数積算図



領域 b 内のM-T図



この期間は地震の検知能力が低い